

講演

日本コンクリート製品フォーラム 2012

プレキャスト進化論

バトルロイヤル

防災・減災とプレキャスト製品

プレキャスト製品が衰退する理由

東日本大震災から1年が過ぎました。昨年のJPCFは当初予定していた5月に開催することができず、「がんばろう日本、がんばろうPCa」をテーマに9月に延期開催しました。

PCa製品を通じて復旧・復興に貢献したいと願う我々の思いとは裏腹に、遅々として進まない復旧、具体的な方向性が見えてこない復興事業に苛立ちを感じている人は多いと思います。

前回のJPCFでは、「東日本大震災からの復興」「ガレキ処理リサイクル材のPCa製品への利用」について有識者にご講演頂き、災害に強い国土づくりという観点から「列島強靱化論ー日本復活5カ年計画」という壮大なビジョンを拝聴しました。また、リレートークではPCa業界の抱える課題と改善策を提示させていただきました。

5月時点での復旧・復興の状況は読めませんが、防災・減災の必要性についての国民の認識は日々高まってきています。防災・減災にプレキャスト製品を有効活用してもらうために、我々PCa業界の体制をどのように変えていけばよいのかについて、活発に意見を交わす場にしたいと思います。

業界初の「バトルロイヤル」

参加者全員に発言のチャンスがある大討論会。今までのパネルディスカッションやリレートークをさらに深めるための新しい手法に挑戦します。

学識経験者、行政O.B.、ゼネコンO.B.、コンサルタントなど、業界外の専門家をゲスト・スピーカー(ただ今、交渉中)として招聘し、参加者相互の討論を通して、「プレキャスト製品が衰退する理由」を解明します。

公共工事の減少以上に、プレキャスト製品の使用量が減っているという現実。この崖っぷち状態を直視して、その背景を解明し、必要な戦略とアクションにつなげていこうと思います。

普段感じていること、業界に関するグチも大歓迎。「俺にも言わせろ!!」という論客の登場を期待しています。

〈テーマ〉

- 1.【技術編】社会資本整備の長寿命化へ向けて。コンクリート製品の期待。
- 2.【積算・ロビー活動編】コンクリート製品の需要を増やすには。業界団体の役割は何か。
- 3.【財務破綻編】協会・団体が生きていくには。

5月16日(水)		5月17日(木)	
9:00	受付開始	各種団体 理事会、 総会	各種団体総会
9:30	開場		
10:00	【講演】 藤井聡氏 (京都大学大学院工学研究科教授) 防災・減災とプレキャスト製品		
12:00	休憩	若手経営者ランチミーティング(昼食費2,000円)	
13:00	[PCaバトルロイヤル] プレキャスト製品が衰退する理由	協賛企業展示&プレゼンテーション	各種団体総会
17:45	休憩		休憩
18:30 20:30	グランドレセプション(大懇親会)		各種団体総会

※一部予定ならびに出演者が変更になることがあります。あらかじめご了承ください。

開催日■2012年5月16日(水) 10時~20時30分

5月17日(木)は各種団体の総会

会場■グランドプリンスホテル新高輪 飛天

品川駅から徒歩5分 TEL.03-3442-1111

参加費■10,000円(当日精算)

主催■日本コンクリート製品フォーラム実行委員会

TEL/FAX.03-3438-8700 E-Mail jpcf.info@gmail.com



プログラムとゲスト

[講演] 防災・減災とプレキャスト製品 10:00~12:00

講師：京都大学大学院工学研究科教授 藤井聡 氏

[若手経営者ランチミーティング] 12:00~13:00

昼食を兼ねて各地区の若手経営者グループの交流会を開催。
※グループ単位でお申し込み下さい。別途、昼食費2,000円/人が必要です。

[PCaバトルロイヤル] プレキャスト製品が衰退する理由 13:00~17:45

ゲストスピーカー：岡山大学名誉教授

宮城大学食産業学部教授

東北大学大学院工学研究科教授・JCIプレキャスト委員会委員長

日本コンクリート技術(株) 代表取締役

(株)シー・アンド・アールコンサルタント 代表取締役

(社)全国土木コンクリートブロック協会会長

全国建築コンクリートブロック工業会会長

全国コンクリート製品協会関東支部長

阪田 憲次 氏

北辻 政文 氏

久田 真 氏

篠田 佳男 氏

小野 定 氏

本間 丈士 氏

米澤 稔 氏

岡村 清孝 氏 ほか

コーディネーター：松井康真 氏(テレビ朝日)、根本かおる 氏(人道問題コミュニケーター&ジャーナリスト)

松井康真氏 ●富山県出身。東京工業大学工学部化学工学科卒。1986年、テレビ朝日入社(アナウンス部配属)。入社2年目からミュージックステーション、ニュースステーション(スポーツコーナー)を担当。パルセロナ五輪(現地キャスター)、プロ野球中継(日本シリーズ、オールスターゲームも実況)、炎のチャレンジャー、タモリ倶楽部、スーパーJチャンネル、スーパーモーニング、ワイドスクランブル、やじうまプラス、サタデースクランブルなど報道・スポーツ・バラエティ・情報番組とあらゆるジャンルの番組を担当。

2008年4月からアナウンススクール・テレビ朝日アスクの学校長を2年間務める。

アナウンス部復帰後、2011年1月から原発問題の自主勉強を開始。柏崎刈羽原発、もんじゅを自費取材し、青森県六ヶ所村の核燃料サイクルシステム取材中に敷地内で東日本大震災被災。緊急帰京後、急速結成された報道局原発班に臨時配属。2011年7月、報道局に異動。原発問題担当報道記者。

根本かおる氏 ●人道問題コミュニケーター&ジャーナリスト。東京大学法学部卒。テレビ朝日アナウンサー、報道局記者勤務を経て、フルブライト奨学生として米国コロンビア大学大学院に留学。修士号取得後、1996年から2011年末まで国連の難民支援機関、UNHCR(国連難民高等弁務官事務所)職員。アジア、アフリカなどの難民援助の最前線で支援活動にあたり、ジュネーブ本部で政策立案、および民間部門からの活動資金の調達をこなす。2007年6月から2年半、国連UNHCR協会事務局長として、世界の難民への支援を呼びかける。現在、国連UNHCR協会理事をつとめ、講演と執筆を中心に活動中。



©Takenao Anzawa

日経ウーマン「ウーマン・オブ・ザ・イヤー 2007」受賞、小学館「プレシヤス」とMax Mara共催「第4回キャリアファッション・アワード」受賞。



藤井聡氏

阪田憲次氏



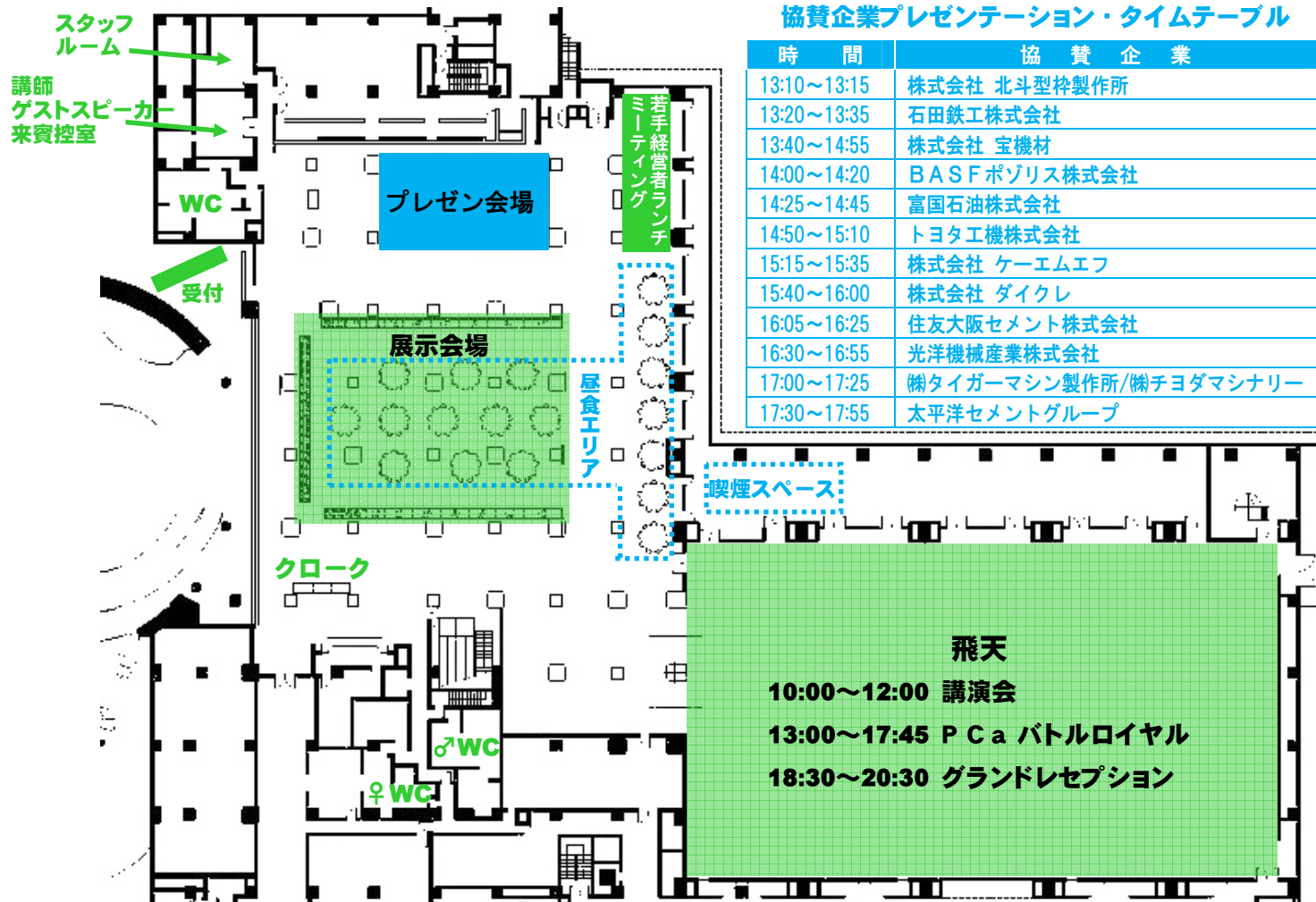
北辻政文氏

久田真氏



[グランド・レセプション] 18:30~20:30

1,000人の大懇親会。東日本大震災復旧支援のため、東北6県+茨城県の清酒をご用意します。



日本コンクリート製品フォーラム 会員募集

私たちは 2009 年に「日本コンクリート製品ジャンボリー2009」を、2010 年以降、毎年、「日本コンクリート製品フォーラム」を開催してまいりました。「日本コンクリート製品フォーラム」は日本の PCa 業界最大のイベントとなりましたが、運営主体である実行委員会は任意団体で、参加費と協賛金・後援金のみで運営、赤字は実行委員が負担するというとても脆弱な体質です。

「中間支援組織として、コンクリート製品業界の交流を促進し、業界のレベルアップと発展をはかる」という大きなビジョンを掲げていますが、まだまだヨチヨチ歩きで、現在の活動が精いっぱいという状況です。交流を促進するリアルな場が「日本コンクリート製品フォーラム」、バーチャルな場が「JPCF.NET」と位置づけていますが、JPCF.NET の方は試験稼働段階のみです。

イベントの運営には大きなお金が動いていますので、業界内の各種団体や企業、業界外の企業や行政からも信頼される組織体を作る必要があり、中間支援組織としてパワフルな活動を進めていくために、特定非営利活動法人の認証をめざしています。そのためにも、一人でも多くの方に会員になっていただき、ともに活動したと願っています。

■「日本コンクリート製品フォーラム」の概要

目的：日本のコンクリート製品業界に対して、オールプレキャストの視点から、コンクリート製品業界の団体及び法人の交流促進に関する事業を行い、業界のレベルアップと発展を支援し、ひいては日本経済の発展に寄与することを目的とする。

事業：(1)コンクリート製品業界の団体及び法人・個人の交流を促進する事業 (JPCF、JPCF.NET など)

(2)コンクリート製品業界団体の運営を支援する事業 (業界団体の共同事務局構想など)

(3)その他、法人の目的を達成するために必要な事業

役員：(1)理事 5 名以上 20 名以内

(2)監事 2 名以内

会計年度：毎年4月1日から翌年3月31日

会員：個人、法人ならびに団体

会費：1 口 10,000円/年(入会金なし)



日本コンクリート製品フォーラムは中間支援組織です。

「新団体の設立？」と言われることがありますが、新日本プロレスから分かれた UWF でもなければ、インディーズ系の西口プロレスやみちのくプロレスでもありません。そのような(PCa 業界の)各種団体や企業をつなぐ触媒のような存在でありたいと、私たちは思っています。「中間支援組織」とは、そんな役割をさせています。そのための一つの「場」の提供が JPCF というイベントなのです。

■ 会員の特典

- ・ JPCF の支援を通じて、上に記した目的と志を共有し、日本の PCa 業界の活性化に貢献できます。
- ・ 会員証と JPCF バッチがもらえます。
- ・ 会員限定のイベントに参加することができます。(Mid Year Meeting など)
- ・ メルマガ等を通じて、さまざまな情報が得られます。

どうか以上の趣旨をご理解いただき、ご入会たまわりたく、お願い申し上げます。

日本コンクリート製品フォーラム (代表理事 大月隆行) 〒105-0004 東京都港区新橋 6-22-6 JOYO ビル 7F TEL/FAX 03-3438-8700

JPCF Mid Year Meeting in 軽井沢



JPCF 会員のための特別プログラム。(当初、「サマー・コンファレンス」という事業名で企画していたものです。)

1泊2日、ホテル借り切りで、WET & DRY の PCa 製品の業界情報交換、技術情報交換、そして経営者研修など多彩なプログラムを用意します。また、JPCF2012のPCaバトルロイヤル以上に本音をぶつける少人数の討論会も開催します。懇親会は The Concretes Japan フルメンバーによるライブ・パーティーです。

業界の人たちとの懇親を深める良い機会にもなります。将来のコンクリート製品業界をリードする若い人たちにも、ぜひご参加いただくようお願いいたします。



ツインルーム



軽井沢 浅間プリンスホテル



The Concretes Japan

日時：2012年10月10日(水) 13:00～11日(木) 15:00頃

場所：軽井沢 浅間プリンスホテル (長野県北佐久郡軽井沢町発地南軽井沢 TEL.0267-48-0001)

定員：全員シングルユースなら75名 (ツイン75室を確保しています)

参加費：検討中

※JPCF 会員のための事業ですので、JPCF への入会が必要です。年会費は10,000円です。

プレス協賛

(株) 公共事業通信社/週刊ブロック通信、(株) セメント新聞社、日刊建設通信新聞社、(株) 日本水道新聞社/日本下水道新聞

後援団体

<5口>

NEP工業会、(一般社団) 全国コンクリート製品協会、(社) 宅地擁壁技術協会、保水性技術普及協会、YACS工業会

<3口>

(NPO) 九州コンクリート製品協会

<2口>

埼玉県コンクリート製品協同組合、全国省力化コンクリート製品協会

<1口>

あんしんバリアー工法研究会、茨城県コンクリート製品協同組合青年部会、円型水路協会、岡山県コンクリート製品技術協会、岡山県エココンクリート製品協同組合、沖縄県コンクリート二次製品協同組合、沖縄CB側溝工業会、香川県土木コンクリート製品協会、鹿児島県コンクリート製品協同組合、神奈川県コンクリート製品協同組合、岐阜県コンクリート製品協同組合、矩形水路研究会、KLウォール協議会、KCマリン工業会、高知県コンクリート製品工業組合、サンククリア工法研究会、新興鋼材株式会社、save研究会、セーフティロード工業会、全国FK式ハンドホール工業会、全国ゴールコン協会、全国ボックスウォール協会、ソーラーキーパー研究会、東京都コンクリート製品協同組合、鳥取県コンクリート製品協同組合、ハイタッチセンター、箱形擁壁協会、ハレーサル工業会、東日本セメント製品工業組合、兵庫県コンクリート製品協同組合、北海道エコスラグコンクリート製品協同組合、マルチスライド工業会、山形県コンクリート製品工業組合、レコサル工業会、ロードプラス研究会、ロングU協会、ワイドウォール工法研究会

協賛企業

プラチナ



ゴールド



シルバー



ブロンズ

コマツリフト株式会社、相模メッシュ鋼業株式会社、旭建鉄株式会社、新貝工業株式会社、株式会社 フォーテック、株式会社 福井鉄工所、麻生ラファージュセメント株式会社、株式会社 大塚商会、コバックス株式会社、株式会社 コンテック、信越産業株式会社、竹本油脂株式会社、株式会社 テイビョウ、TCM株式会社、東亜ケミカル株式会社、東邦工業ゴム株式会社、株式会社 トクヤマ、日本シーカ株式会社、日本スプライススリーブ株式会社、早川ゴム株式会社、福岡金網工業株式会社、ワールド保険グループ、井上電設株式会社、株式会社 タカハシキカン、有限会社 クレインシステム、JFEミネラル株式会社、株式会社 フレックスシステム、京都ホィストサービス

日本コンクリート製品フォーラム の存在意義

PCa業界は衰退一直線、まさに崖っぺち業界です。このままでは未来はありません。PCa製品の認知度を高め、その社会的価値をPRするとともに、PCa製品の優位性を社会にアピールすることに、All Precastの立場から取り組むべきときがきています。

PCa製品の信頼性を保証できる技術的規準づくりや、行政に対してPCa製品の活用による社会的価値の創造を提案するようなアクションが、PCa製品業界全体に共通する基盤を整備し、業界そのものの活性化につながってくると思います。

しかし、残念ながらPCa製品業界には、そういう役割を担う団体は存在しませんし、少なくとも私たちにそのような団体をつくる力もありません。既存の団体の交流・連携が、All Precastへの道を開くと信じ、私たちは「中間支援組織」として、PCa製品業界の交流・連携を促進し、業界のレベルアップと発展をはかることを目的として活動しています。

中間支援のイメージ

